

【用語説明】

	用 語	解 説
か行	既存道路ストック	部分的に完了している道路。
	交通需要マネジメント (TDM)	車利用者の交通行動の変更を促すことにより、都市または地域レベルの道路交通混雑を緩和する手法体系のことで、円滑な交通流の実現により、環境の改善、地域の活性化も図ることができる。TDMと呼ばれている。
	交通結節点	鉄道の乗り継ぎ駅、道路のインターチェンジ、自動車からその他交通機関に乗り換えるための停車・駐車施設、駅前広場のように交通動線が集中する箇所。
	交差点すいすいプラン 100	道路幅員の狭い片側1車線の道路で、交差点直前の短い区間の用地を買い取り、右折車線などを設置するもので、比較的短期間に小額の投資で大きな効果の得られる交差点改良事業として東京都が実施している。
	公共車両優先システム (PTPS)	バスなどの公共車両が優先的に通行できるように支援するもので、路上に設置した光ビーコンがバス車載装置からの信号を受信すると、進行方向の交通信号機をバス優先(赤の短縮、青の延長など)としバスを通過しやすくするシステムをいう。
さ行	サイクルアンドバスライド	バス停周辺などに駐輪場を設置して、自宅などからバス停まで自転車を利用し、そこからバスに乗り換え、目的地に向かうシステム。
	シームレス	利用者が複数のサービスを違和感なく統合して利用できること。利用者はあたかも同じサービスを利用しているかのように複数のサービスを利用することができる、という意味を持っている。
	スペシャルトランスポートサービス	STSのこと。なんらかのハンディにより通常の交通機関が使えない方のために提供される公共交通のひとつであり、高齢者、障害者等に移動の機会を与えるものである。
	新交通システム	広義には「既存の輸送手段のパターンにあてはまらない、種々の交通手段の総称」と定義され、動く歩道、モノレール、リニアモーターカーなど、多くのシステムがこれに含まれる。狭義にはガイドウェイシステムを指すのが一般的である。ガイドウェイシステムとは中量(バス以上鉄道未満)程度の輸送力を有する軌道系の交通システムで、コンピューターコントロールによって自動走行するため、省力化が可能で、運転経費が節減できるほか、走行輪にはゴムタイヤを使用するため、騒音が小さいなどの特徴をもつ。
た行	都市計画道路	都市計画法第11条第1項に規定されている都市施設の1つで、都市計画によって指定される道路のこと。
な行	ノーマライゼーション	高齢者、障害者等を社会から分離するのではなく、社会の一員として、共に生活することが正常であるとする福祉の理念。デンマーク、スウェーデンなど北欧の国々で発達した社会福祉の理念であり、1981年の国際障害者年のテーマ「完全参加と平等」を支える哲学として紹介されて以来、わが国においても浸透し、定着しつつある。

	用語	解説
な行	ノンステップバス	車両の床面が超低床で、車椅子使用者のみならず、杖を利用している方、高齢者、ベビーカー利用者など様々な人々のスムーズな乗降を可能とするバス車両のこと。
は行	バスベイ	バスが停留所に停車することにより発生する渋滞の解消や安全性の向上を図るために設けるバス停車帯のこと。
	バス停スムーズプラン	都内における慢性的な交通渋滞の一因として、二車線道路及び骨格幹線道路におけるバスの停車が交通渋滞を招くばかりでなく、見通しを阻害することによる正面衝突事故の発生原因ともなっている。 そこで、東京都では、道路交通の円滑化と安全を図るため、交通事故の危険性や交通渋滞を引き起こしている二車線道路及び骨格幹線道路のバス停留所にバスベイを設置する「バス停スムーズプラン」を平成15年3月に策定し、都内100箇所ですべて計画的に事業を推進している。
	パブリックインボルブメント	政策形成や公共事業の構想・計画段階において、住民に対して十分な情報公開をするとともに意見交換の場を提供し、広く住民の意見やニーズを政策や事業計画に反映するための手法。
	バリアフリー	高齢者、障害者等が生活する上で、行動の妨げになる障壁を取り去り、高齢者、障害者等にやさしい生活空間を作りあげること（歩道の段差解消など）。また、物理的な障壁ばかりでなく、障害者お年寄りが社会参加をする上で、精神的にも障壁がないことも意図する。
	パークアンドバスライド	バス停周辺などに駐車場を設置して、自宅などからバス停まで自動車を利用し、そこからバスに乗り換えて、目的地に向かうシステム。
	ボトルネック	車線数が減少する場所や交差点など、交通渋滞を引き起こす要因となるような場所をいう。
ま行	モビリティマネジメント	ひとり一人の移動を対象としつつ、それらが社会的にも個人的にも望ましい方向に自発的に変化することを期待する施策をいう。「望ましい方向」の代表的なものとして、「過度な自動車利用から、公共交通や自転車等を適切に利用する方向」をいう。
や行	ユニバーサルデザイン	道具や空間をデザインするに当たって、障害者のための特別なデザインを考案するのではなく、健常者も含めた全ての人にとって使いやすいデザインを考えること。
ら行	レンタサイクルシステム	月極めの契約（定期利用）や、当日利用ができる貸し自転車で、1台の自転車を複数の人が使うことにより、自転車の有効利用が図れるとともに、駅周辺における放置自転車の抑制、地域振興、環境改善などを主な目的として実施されている。